

(対象期間 : 2019/9/2~2019/9/6)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日~2019年9月6日)

【株式市場】

2日はガネーシャ祭の祝日のため休場でした。3日は8月30日に発表された4-6月期の実質GDP成長率が、前年同期比で+5%と6年ぶりの低水準になったことが嫌気されて、インド株式市場は大きく下落しました。その後は5日まで比較的小幅な動きとなりました。6日は米中貿易摩擦に対する懸念が後退して海外株式市場が堅調となったことに加えて、インド政府による追加景気刺激策への期待が高まって株式市場は上昇しましたが、週間では下落となりました。

2019/8/30	2019/9/6	変化率
37,332.79	36,981.77	-0.94%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日~2019年9月6日)

【債券市場】

2日は祝日のため休場でした。前週に発表された4-6月期の実質GDP成長率が弱かったことから、3日は追加利下げ期待が高まりインド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。翌日は反動から利回りが上昇し、その後も原油高などが重石となって週末まで利回りは上昇傾向となりました。

2019/8/30	2019/9/6	変化幅
6.559	6.602	+0.043

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日~2019年9月6日)

【為替市場】

為替市場でもインドの実質GDP成長率が弱かったことを受けて、ルピーは対米ドルで下落しました。週後半にルピーは反発しましたが、週間では下落となりました。一方、円も対米ドルで下落し、円の下落幅が大きかったことから、対円ではルピー高となりました。

2019/8/30	2019/9/6	変化率
1.489	1.493	+0.30%

出所 : グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。